

女性と農業

市内で活躍する女性の農業者達

国の調査では、女性農業者が基幹的農業従事者の約4割を占める重要な担い手として位置付けられているとともに、女性が農業経営に関与している場合、**經常利益増加率が高い**という報告があります。**生産者だけでなく、消費者の視点や多彩な能力をもち、農業の最前線で活躍している**市内の女性農業関係者の方々をより多くの方に知っていただくことで、今後の農業分野における、さらなる**女性の活躍推進**に繋がることを期待しています。令和6年度は「女性と農業」をテーマに、吉川市の農業分野で活躍する素晴らしい女性の中から10名の活動を紹介します。パネル展や座談会を開催し、男女共同参画の理解を深める取り組みをしました。



インタビュー記事は
市HPより
ご覧いただけます。

インタビューにご協力いただいた皆さん



咲ちゃんファーム
かしわ さきこ
柏 咲子さん
(吉川市農業委員)



グリーン&サン
みょうじょう みちこ
明星 美智子さん



渡邊農園
わたなべ あきこ
渡邊 昭子さん



岡田トマト園
おかだ ひろな
岡田 早苗さん



田園ファーム
こうろく としこ くにこ
高鹿 俊子さん・訓子さん



永瀬農産 吉川いちごの里
ながせ みか
永瀬 美香さん



西山園芸
にしやま あや
西山 亜弥さん



お米農家やまさき
やまさき みずや
山崎 瑞弥さん



JAさいかつ女性
三輪野江支部支部長
はぎわら とよこ
萩原 豊子さん
(吉川市農業委員)

世界におけるジェンダーギャップ指数

今の社会では、男性の役割・女性の役割など、個人ではなく「性別」によって生き方や働き方の選択肢、機会が決められてしまうことがあります。このように社会的・文化的な慣習やイメージ、また役割分担によって作られた性別を「ジェンダー」と言います。性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会にしていくため、私たちは現状を知り、今できることを考える必要があります。平成18年から、スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が毎年公表している世界基準の男女格差を数値化した指標「ジェンダーギャップ指数」を見てみましょう。

この指標は、教育・経済・健康・政治の4分野で構成され、0が完全不平等・1が完全平等を意味しており、指数が1に近づくほど男女平等で、男女の格差がない状態を表しています。

令和6年に発表された日本におけるジェンダーギャップ指数は146カ国のうち118位と前年の125位から7つランクアップしているものの、依然として先進7カ国中で最下位となっています。また、アジア近隣諸国から見ても、ベトナム（72位）、韓国（94位）、中国（106位）より下回りました。世界中がジェンダー格差の解消へ取り組みを進めているのに対し、日本はそのスピードに追いつけていません。政治分野・経済分野での順位が低く女性の参画に課題があることが示されました。

日本は **118位** / 146カ国
(前年から7ランクアップ)

政治・
経済分野
に課題

順位	国名	指数
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
72	ベトナム	0.715
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
118	日本	0.663

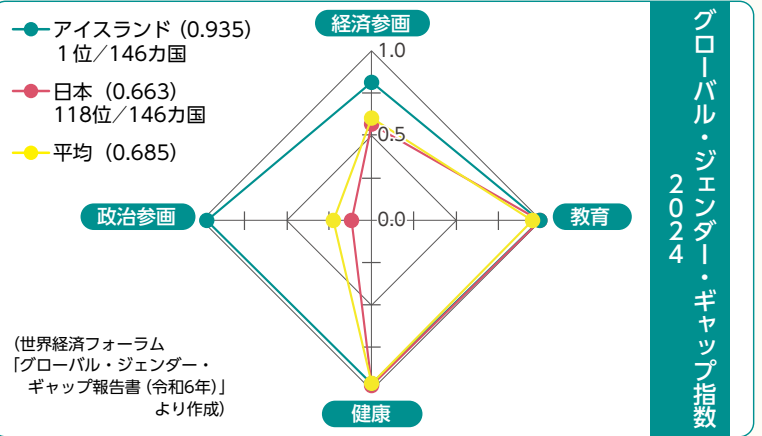
分野別順位

政治 113位

経済 120位

健康 58位

教育 72位



吉川市の取組

市では、国が「男女共同参画社会基本法」を制定する以前の平成7年に、男女がともにいきいきと豊かに暮らせるまちづくりを目指す行動計画「よしかわパートナーシップアクション22」を策定しました。そして、この計画を継承しながら、第4次吉川市男女共同参画基本計画（令和4年3月策定）まで改定を重ね、現在に至っています。第4次計画では、「多様性を認め合い誰もが自分らしく生きることができるまち」を基本理念として、ジェンダー平等の視点に立ち、男女共同参画社会の実現を目指した取り組みを進めています。



女性と農業 パネル展
開催日：令和6年6月22日から30日



女性と農業 座談会
開催日：令和6年10月6日



女性に対する暴力をなくす運動啓発
パープルライトアップ
開催日：令和6年11月12日から25日

相談窓口

家庭のこと、仕事のこと、夫婦のこと、交際相手のこと、自分の生き方など…
一人で悩まずに相談してください。周りの人が悩んでいると感じたら、相談窓口があることも教えてあげてください。

吉川市配偶者暴力相談支援センター
TEL 048-982-5968

平日午前9時から午後5時
月・水・金曜日は女性の専門相談員が相談に応じます。

女性総合相談(予約制)
TEL 048-982-9458(予約電話)

平日午前9時から午後5時
原則毎月第2・第4月曜日 午後1時/2時/3時 相談時間各50分
場所 市民交流センターおあしす1階ミーティングルーム
女性が抱える悩み全般を女性相談員が相談に応じます。

男性のための電話相談(埼玉県)
TEL 048-601-2175

毎月第1・第3日曜日 午前11時から午後3時
DVの他男性全般の相談に男性の臨床心理士が応じます。

私たちの農産物MAP



instagram

1 柏 咲子 (咲ちゃんファーム)

自然あふれる拾壱軒の無人直売所にて、おみや珍しいお野菜を販売しています。

栽培品目 アイスプラント、アスパラガス、ねぎ 他(年間40品目栽培)

直売所 吉川市拾壱軒251

営業時間 9:00~17:00/不定休 営業時間

出荷場所 JA さいかつフレッシュファーム

イオンタウン吉川美南店



instagram

2 明星 美智子 (グリーン&サン)

フードロス無くすため、B級品野菜の直売所を設置。オレンジののぼり旗が目印。

栽培品目 とうもろこし、ブロッコリー、えだまめ、ほうれん草、オクラ、

カリフラワー、オクラ、カリフラワー

直売所 吉川市関新田1-110付近

営業時間 不定休

出荷場所 イオンタウン吉川美南店、

ECサイト

3 渡邊 昭子 (渡邊農園)

吉川で有名な夏ねぎをはじめ、ブロッコリー、レタスなどを栽培しています。

栽培品目 ねぎ、ブロッコリー、レタス、リーフレタス、大根、ミニかぼちゃ、なす、

きゅうり、ミニトマト、カリフラワー

直売所 吉川市川藤339

営業時間 9:00~12:00/不定休

出荷場所 JA さいかつフレッシュファーム

イオンタウン吉川美南店

4 岡田 早苗 (岡田トマト園)

トマト一筋45年。

甘みのあるおいしいトマトを栽培しています。

栽培品目 トマト

直売所 吉川市下内川1681

営業時間 8:00~12:00/金曜定休

出荷場所 JA さいかつフレッシュファーム

イオンタウン吉川美南店

5 高鹿 俊子・訓子 (田園ファーム)

ガーデン散策やブルーベリー狩りが楽しめます(要予約)。花材の取り扱いも有。

栽培品目 ブルーベリー、トマト、多肉植物、ミモザ、ユーカリ等花材

直売所 吉川市高富1033-1

営業時間 日、木曜9:00~12:00/臨時休業有

出荷場所 JAさいかつフレッシュファーム

イオンタウン吉川美南店



instagram



instagram

6 永瀬 美香 (永瀬農産吉川いちごの里)

幼い頃から大好きないちごを、丹精こめて栽培しています。

栽培品目 いちご

直売所 吉川市飯島36-1

営業時間 10:00~12:00/月、金曜定休/臨時休業有

出荷場所 JAさいかつフレッシュファーム

イオンタウン吉川美南店

7 西山 亜弥 (西山園芸)

豊かな田園風景を眺めながら、お花を購入することができます。市内の催しにも多数出店。

栽培品目 ペチュニア、ピオラ等の花壇苗

直売所 吉川市血沼1-97

営業時間 9:00~16:30/土、日曜午後定休



instagram



HP

山崎 瑞弥 (お米農家やまざき)

農薬や化学肥料を極力使わずにまごころ込めて栽培しています。

栽培品目 米

販売 ECサイト

「女性と農業」 座談会



開催日：令和6年10月6日(日)
会場：市民交流センターおあしす



農業分野における女性の活躍をより多くの方に知っていただく機会として、「女性と農業」座談会を開催しました。

吉川市男女共同参画審議会の浅野富美枝会長進行のもと、農業の最前線で活躍している市内の女性農業関係者8人に登壇していただき、就農のきっかけ、日頃の取組、やりがい、今後の展望等を語っていただきました。

市長 今日、吉川の農業の第一線で活躍される皆さんにお集まりいただき、農業の話がたくさん伺いたいと思います。

浅野 吉川市は中川と江戸川に挟まれた土地で、古くより稲作がとても盛んな地域とお聞きしております。また、都心近郊に位置していることから、様々な野菜が育てられ、都市型農業として発展していますね。

市長 それでは、登壇者の皆さん、自己紹介と取り組んでいる内容等の紹介をお願いします。

萩原 JAさいかつ女性部三輪野江支部支部長、そして、農業委員を務めております萩原と申します。農業委員として、遊休農地が増えぬよう農地パトロールの強化、個別訪問には戸惑いと苦勞がありますが、地権者からの相談には今後も力となります。農地の管理は、高齢化や後継者不足等、大きな問題となっており、担い手の確保に向けた取り組みは、今後重要になると感じています。また、「農委だより」の編集委員として、地場産の野菜を使った簡単なレシピを紹介しています。女性部としての活動を地域の活性化の実現に向けて取り組んでいくには、多くの方の協力があって実施できているのだと、改めて女性の「ちから」を感じています。

市長 農業委員は、その地域に住んでいる方もしくは農業をしている方をお願いをしています。



浅野 吉川市の農業委員は18人中、女性が2人と聞いています。全国でも女性の農業委員は12%ほどで推移しています。少数派が3割になると組織の質が変わり、活動内容が変わると言われていますので、女性の割合が増えると良いですね。

柏 米、野菜農家、そして農業委員を勤めております、咲ちゃんファームの柏と申します。

実家は米、花を主とした農家でした。高校卒業後は県内の百貨店に就職し販売員として働いていましたが、父が亡くなり農業を辞めてしまった事をきっかけに、販売員の仕事を退職し農機具の営業、修理を行う会社に勤めていた夫と共に実家を継ぐ形で就農しました。

市長 苦勞されていることはありますか。

柏 最近は、温暖化により農作物が栽培しづらい状況です。雹や水害による被害もありました。買取価格は上昇傾向となっておりますが、収穫量が減少しているなど感じています。

市長 柏さんは、商業施設でのイベントにも出店していますし、ご自宅近くには無人販売所を設けていますね。

柏 昔は、店舗に農産物を卸すだけでしたが、イベントに参加することで、消費者や異業種との交流により新たな事業の展開が生まれたと感じています。

永瀬 三輪野江で苺を栽培している永瀬です。小さい頃に祖父から苺の苗をもらい、自分で庭に植えて育て、少しずつ増えていく光景を見て苺に興味を沸き、今の仕事に繋がっています。就農して4年目です。越谷で2年間いちごの「い」か



ら「ご」までみっちり学びました。

市長 苦勞されていることはありますか。

永瀬 苺の安定供給です。出来る限り、甘くて、大きい苺を安定的に供給していきたいですね。

市長 市では永瀬さんの農園付近に農業パーク構想を掲げており、体験農園などを含めて、農業地域の再生を目指しています。今、いろんな企業にアプローチしていますが、永瀬さんが、苺農園をやっていることがすごくプラスになっています。

永瀬 今後は、苺を使った2次加工などにも挑戦したいと考えています。農業設備などは、とても高額であり、何か支援があると嬉しいです。

市長 農業の補助金は、国や県が中心となるので、補助金に関する情報をしっかりと提供しながら、企業との連携などには、市がしっかりとサポートする、そんな形を引き続き行なっていきたいと考えています。

高鹿(俊) 私たちは、田園ファームの高鹿と申します。吉川美南高校の近くで農園を営んでいます。ブルーベリーと出会い16年、収穫体験農園をやっています。最近は、ガーデニングを整備したことで、癒しを求めて訪れる方が増えています。大手の体験サイトにも掲載したことで、多くの方に来ていただいています。



高鹿(訓) 私は元々、切り花を使った仕事をしていました。切り花を実際に自分で育ててみたくて、その部分を楽しんでいました。

市長 訓子さんは様々なアイデアを持っていて、メダカ、ハーブ、最近は養蜂にも取り組まれていて、このあたりもお話いただければと思います。

高鹿(訓) 農園のスペースには限りがあるため、その中で出来ることを常に考えています。蜜蝋を使ったワークショップができないか検討しています。メダカについては、栄養価の高い飼育水の活用という部分も重視していて、アクアポニックスにも挑戦したいと考えています。



市長 ブルーベリージュースを開発されましたよね。

高鹿(訓) はい。いずれは、農園内にカフェを併設したいと考えています。

市長 続いては、市産業振興会議のメンバーで様々なご意見をいただいている西山さんです。

西山 血沼で花き農家をしている西山園芸の西山と申します。代々お米や野菜の農家をやっていたのですが、父が約50年ほど前にシクラメンの栽培を始めて私が2代目です。私も柏さんと同じで、目の前で農業をしている光景を見てきたので、いずれは農業をやると思いつつも、外に出たくて都内で就職をして一人暮らしをしていました。離れて暮らすと、改めて吉川の風景が恋しくなって、帰ってきました。花き農家を多くの方に知ってもらうため、親子向けの寄せ植え体験のイベントを行なっています。さらに、吉川の風景を觀賞しな



がら、焚火や焼き芋などの体験が楽しめる「満月瞑想会」という、自然の中でゆっくり過ごす企画を考え、年に2、3回ほど開催をしています。このイベントは、市の事業者連携補助金を令和4年に活用したことをきっかけに、市内の事業者の方々と連携して始めました。

市長 皆さん一度地元を離れ、再び戻ってきて、それまでの農業に加え、新しいことに挑戦していますね。

浅野 農業に限らずどの分野でもそうですが、これまでと同じやり方では、発展が難しい時代になってきていますね。ダイバーシティ、多様性社会ということが言われていますが、農業経営も農業の専門性だけでなく、経営力や情報発信力も必要です。とは言え、こうした多様な力を一人の農業従事者や家族だけで担うのは限界があります。異業種も含め、多様なグループとネットワークを作っていくことがとても大切だと思います。

明星 グリーン&サンの明星です。父が小松菜農家ですが、私は、10年程登山用品の販売会社に勤め、出産を機に農家をしながら子育てができるのは自分に合っているのではと考え、実家に戻りました。



市長 子育てと農業の両立というのはどうでしたか。何か課題がありましたか。

明星 子供が小さい頃は、子供が昼寝をしてる時に外で仕事をしていました。寝て起きての繰り返しでこの頃が一番大変でした。

市長 明星さんのトウモロコシは、人気で売れていますね。

明星 市内でトウモロコシを育てている人はあまりいませんが、夫がトウモロコシが好きで、挑戦しようとなりました。高齢化などで耕作が出来なくなった方から畑を借りて栽培しています。

市長 販路はどのようにしていますか。

明星 イオンレイクタウンやイオンタウン吉川美南店、三郷のらぼーとも納品しています。トウモロコシは大きくなり過ぎたり、鳥などに突かれるなどで、出荷が出来なくなることが多くあります。こんなに甘くて美味しく食べられるのに廃棄されるのが勿体ないとずっと思っていました。もしかしたら、気にしないで食べてくれる人がいるのではと考え、自宅近くの直売所で販売してみたところ、多くの方に購入して頂きました。柏さんの直売所を見学させてもらい、令和6年2月頃から始めました。

山崎 お米農家の山崎と申します。親には、農家に嫁ぐのは、やめた方がいいと反対されながら、夫と結婚をして、一ヶ月後には、親が言っていることは正しかったと痛感しました。夫は江戸時代から続くお米農家で、作ることには夢なのに、売るのがサッパリというタイプなんです。当初はあまりにも売れないので、昼間は農作業をして夜はトラック運転手などをして生活費を補っていました。私は農家出身ではないので、視点が消費者寄りなんですよね。少しずつやり方を変え、例えば30kgや10kgで販売していたお米を1kgで売る。農業をなるべく使わずに育てたお米であることを伝えていく。そして、掃除、インテリア、ファッション等の雑誌などに取材に来ていただいて、それを見た方がお米に興味を持ってく



ださって注文を頂くようになりました。

市長 図書館には山崎さんの著書が並んでいます。実際お会いしてみたら、とても素敵な方でした。プランディングや販売戦略が本当に素晴らしい。



山崎 お米をそのままお店に並べても、価格で線引きをされてしまう。食に興味がある人は陶器にもこだわるだろうと考え、そういうお店にアプローチしていききました。お米についてSNSで発信していたら、出版社から本にしませんかという

お話を頂いて、出版することになりました。その本が中国語に翻訳されて、台湾でも出版しました。いつかお米を抱えて海外に行きたいですね。

市長 今後のチャレンジや困りごとはありますか。

山崎 暑さとカメムシが原因でリクエストに応えられる米の量を収穫できないというのが一番の問題ですね。暑さで田んぼの草取りが堪える年齢になり、作業を終え家に帰るとその日の注文対応で手一杯なので、夫が料理を三食作ってくれています。



市長 日ごろ感じているのは、女性の農業者は、農業の低減など丁寧な栽培を心がけている方が本当に多いですね。それは、自分の子供や家族のことを考えていて、売れば良いではなくて、家族が食べた時を想定するということが、男性よりも強いのかなと感じますね。

家族をキーワードに一言

山崎 男だから、女だから、お父さんだから、お母さんだからではなく、家族で家事や仕事を割り振って、子供や夫にもどんどん手伝ってもらっています。農家の経営は面白いと感じています。家族であり、職場でもあるこの場所でお互いに助け合う。高校三年生と中学一年生の子供がいますが、頭をひねれば、どんどん扉が開くぞというのを親の背中を見て感じてくれれば良いなと思っています。

明星 山崎さんがおっしゃったように、これからは、女性が家事をやるのではなく、男性も家事をやるようにしなきゃいけないかなと思います。息子に共有していこうと思います。

西山 私には、娘2人がいます。2人と将来の話をするとき色々と考えていて、農業に限らず、自分がやりたいことに向かって進んでほしいと思っています。



山崎さんの著書は吉川市立図書館で貸出可能



おこげを無料配布してくださった、JA さいかつ女性部三輪野江支部の皆さん

市長 親と一緒に農業をやるというのは大変なことでしょうか。それとも、楽しいでしょうか。このあたりいかがですか。

高鹿(訓) とても楽しいですよ。農家は、親から子へ継いでいく農業が多いと思いますが、私は、農業をやりたい人に繋げていく形をやりたいと思っています。

市長 これは、農業の承継に関するキーワードですね。

永瀬 父がお米を生産していますが全然手伝えていないので、もう少し手伝えたいなと思います。

市長 お父さん今とても嬉しいと思います。やっぱりお父さんお母さんの支えがあって今がある。大切にしたいですね。

柏 夫は農機具を使えますが、私は使えないので除草や収穫の荷造りをしています。農作業は年々厳しい状況となっていますが、支え合いながら吉川の農業を盛り上げたいです。

萩原 女性の農業者の方々の頑張りはとても素晴らしく羨ましい限りです。私は長きに亘り行政の仕事を終え、農業委員、自治会、老人会、それから女性部の活動を通じて、地域の方々との関わり、人とのつながりの大切さを感じています。地域や団体では、高齢化が進んでいますが、女性の活躍の場を地域にもっと広げていき「我が人生最高!」。これからも挑戦と努力を忘れずにしっかりと、取り組んでいきたいと思っています。最後に座談会へ参加させていただき、ありがとうございました。関係者の皆様のご協力もあり、産業フェアへの出展ができたこと、そして女性部員が楽しく協力してくれたことが、何よりの「人生の糧」となりました。

市長 様々な立場からお話をいただきました。素晴らしいですね。浅野先生、どうですか皆さんのお話を伺って。

浅野 登壇者の皆さん、共通して、多様な力と視点を持っていらっしゃるね。農業生産者の視点に加え、生活者の視点、次の世代を育てる視点、ダイバーシティの視点などをお持ちで、しかも自分のやりたいことをどう実現するか、色々工夫しながら生き生きと取り組んでいらっしゃる。こうした取り組みは吉川の農業を一層発展させる力になると確信します。女性たちがもつ多様な力が、社会や職場、地域の農業で発揮されるためには、女性を取り巻く社会や地域、家族などのあり方が重要です。今日は「女性と農業」というテーマを通して、性別にかかわらず、誰もが持てる力を自分らしく発揮できる社会を作ることの大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

市長 皆さんの熱い思いが会場にも伝わりました。吉川市の農業のネットワークは益々発展して行くと改めて感じました。登壇いただいた皆様ありがとうございました。



萩原さんが考案した「なすの酢ぶて」のレシピはこちらからご覧いただけます。

